

水資源機構 令和元年度・第1回入札等監視委員会 審議概要

| | | | |
|---------|--|-----|------|
| 開催日及び場所 | 令和元年6月24日(月) 機構本社会議室 | | |
| 委員 | 角田 茂(学校法人参事) 栗田 誠(大学教授) 篠原焯夫(弁護士) 中村好男(大学名誉教授) 清水義彦(大学院教授) | | |
| 審査対象期間 | 平成31年1月1日～平成31年3月31日 | | |
| 抽出案件 | 総件数 | 5 件 | (備考) |
| 工事 | 一般競争入札 | 1 件 | |
| | 公募型指名競争入札 | 0 件 | |
| | 通常指名競争入札 | 1 件 | |
| | 随意契約 | 0 件 | |
| 建設コンサルト | 公募型プロポーザル・簡易公募型プロポーザル | 1 件 | |
| | 公募型指名競争入札・簡易公募型競争入札 | 0 件 | |
| | 標準プロポーザル | 0 件 | |
| | 一般競争入札 | 1 件 | |
| | 通常指名競争入札 | 0 件 | |
| | 随意契約(競争性のある) | 0 件 | |
| | 随意契約(特命随意契約) | 0 件 | |
| | 補償契約 | 1 件 | |

1. 委員からの意見・質問、それに対する回答等

(1) 一般競争入札(工事)

【豊川用水二期東部幹線併設水路浅間・風越工区工事】

| 意見・質問 | 回答 |
|--|--|
| ・工事技術的難易度評価表の構造物条件について、評価の考え方を説明してほしい。 | ・技術的難易度の評価につきましては、小項目にAが1つ以上あれば大項目についてはAという評価をしています。 |
| ・同種工事の施工実績について、過去15年間の実績を求めているが、この期間は一般的なのか。技術の進歩もあり、あまり古い実績はどうかという面がある一方で、直近の実績のみとなると、実績がなく参加できないという面もある。 | ・施工実績の期間を短く設定しますと、施工実績がなく参加できないということもあり、技術面でも問題ないと考え、15年で設定しています。 |
| ・技術提案を求める内容については、企業の技術力を総合的に評価できる項目となっている必要があると思うが、例えば、安全対策等は重要なことではあるが、企業の技術力を把握する上でどの程度重要なのか。 | ・長期にわたるトンネル掘削において坑内での安全対策は非常に重要だと考えておりますので、それに対する特別な工夫や企業の取り組みを評価し、技術点として付与するために項目設定しています。 |
| ・予定価格はどの段階で作成するのか。また、技術提案を踏まえた上で作成するのか。 | ・予定価格は開札前までに作成することとなっておりますが、技術提案の内容を加味した内容とするものではありません。 |
| ・入札価格も各者が積み上げて積算して | ・トンネル施工ということで、延長もありますので、 |

| | |
|--------------------------------|--|
| <p>いるのだと思うが、こんなに差がでるものなのか。</p> | <p>各々のメーター単価が若干違うだけでも大きな差となることがあります。各者の入札価格の内訳を確認しましたが、どこが偏ってということはなく、全体的に高かったり、安かったりというところがあり、各者の算定方法が若干違うことによるものと思います。</p> |
| <p>・技術点の配分について説明してほしい。</p> | <p>・評価点について、提案内容により優は2点、良は1点、可は標準案と同程度ということで0点、否は不採用というように設定しています。技術点は評価点の最も高い者に最大値を配分し、その他は評価内容に応じて比例配分することになっています。</p> |

(2) 指名競争入札 (工事)

【荒川ダム総管ダム基礎排水孔維持工事】

| 意見・質問 | 回答 |
|--|---|
| <p>・辞退した会社が多いのだが、利益が上がらないという理由で辞退されたのか。また、入札参加者の入札価格が倍程度も違うが、見積がどのように違うのか。</p> | <p>・辞退理由を確認していませんが、技術者不足というような状況もありますので、一概に利益だけとは言えないと思います。また、見積の違いについては、狭い中での特殊な工事となりますので、当然そのノウハウ等もあり、業者によって積み上げ方も随分違ったのではないかと思います。</p> |
| <p>・指名業者選定結果整理表の実績数をみると、多い会社で6件、少ない会社では1件しかないが、コリンズの検索は、過去何年分を検索しているのか。</p> | <p>・期間は設けずに登録されているもの全ての数字となります。</p> |

(3) 簡易公募型プロポーザル (建設コンサルタント等)

【淀川本部管内気象予測検証業務】

| 意見・質問 | 回答 |
|--|---|
| <p>・技術提案書の提出者を選定する基準としては、企業としての技術力を評価しているが、技術提案書を特定するための基準としては、企業の技術力は評価せず、配置予定管理技術者の技術力を評価する基準になっている。どういう考え方によるものか。</p> | <p>・提出者を選定する段階で、企業としての適格性は判断しているので、技術提案書の特定段階では技術者について評価しています。</p> |
| <p>・専門技術力の点数の違いは、管理技術者等の実務経験の有無によるものか。</p> | <p>・専門技術力は、実務経験と過去の業務成績で評価しており、結果的に過去の業務成績で差がついたということです。</p> |
| <p>・降雨予測は、気象庁からデータをもらうのではなく、独自の方法で予測を行うのか。</p> | <p>・基本的には、気象庁の予測をベースにしていますが、気象庁の予測は広範囲なので、気象庁の予測を更に細分化して、ダム流域でどうなるかという細かい整理を行うものが本業務です。</p> |
| <p>・評価テーマにおいて、降雨予測と台風</p> | <p>・降雨予測は重要だと考えていますが、最近台風</p> |

| | |
|--|--|
| 等の緊急気象情報の提供内容の技術点が同じ配分となっているが、どちらかというところと降雨予測をいかに的確に行うかで全てが決まるのではないかと思うため、予測にウエートを置いてもいいのではないかと思うのだが、そのようなことはないのか。 | ですとか、線状降水帯ですとか、なかなか予測できないようなところの情報をいかにもらえるかというところも重要だと判断していますので、この2つのテーマを同じ配分で設定しています。 |
|--|--|

(4) 一般競争入札 (建設コンサルタント等) 【弥富揚水機場監視制御設備他整備検討業務】

| 意見・質問 | 回答 |
|--|--|
| ・総合評価整理表において、企業の技術力の評価項目である成績評定点の平均と管理技術者の技術力の評価項目である成績評定点の平均について、異なる計算となっているが、その辺りの整合性はどうか。 | ・企業の技術力では75点以上が10点、管理技術者の技術力では75点以上が5点としていることから、管理技術者の方は2分の1としているものです。 |
| ・企業の技術力と管理技術者の技術力の両方を10点としてもよいのではないか。 | ・本業務では、企業の技術力にウエートを大きくしたものです。 |

(5) 補償契約 【土地等の売買に関する契約書 (付替林道B区間)】

| 意見・質問 | 回答 |
|----------------------|-------------------------------------|
| ・まだ登記が完了していない理由はなにか。 | ・現在、分筆登記手続を行っており、その手続に時間を要している状況です。 |

2. 委員会による意見の具申又は勧告

なし

3. 問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心1-1番地2

ランド・アクシス・タワー内

電話 048-600-6500

水資源機構入札等監視委員会事務局

技術管理室契約企画課長 宮前 武利 (内線 2251)

技術管理室技術調査課長 松尾 誠 (内線 4631)

用地管財部用地補償課長 松本 徳幸 (内線 2321)